

2021 年度

東京学芸大学 留学生センター

年 報

はじめに

留学生センター年報の2021年度版がまとまりましたのでお届けします。

2020年春以降、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）のパンデミックに伴い、留学生の往来は厳しい制約を受けています。今年度も、国費留学生（教員研修留学生、日本語・日本文化研修留学生等）については新規の渡航を受け入れておりますが、協定校からの交換留学生や、私費の外国人研究生等については未だ受入再開に至っておらず、一部（既に来日していた者・日本国籍を持つ者等）を除いて母国からのオンライン受講や研究指導を基本とする状態が続いております。昨年度は中止となったタイのシラパコーン大学7+1プログラムも、今年度はオンラインに切り替えての再開となりました。

そうした諸事情もあって、今年度の留学生は本センター受入分の91名（内訳は6頁参照）のほか、正規生86名（学部13・修士課程57・博士課程16＝2021年10月1日現在）と少ない状態が続いております。

こうした中、留学生センターの専任教員4名と特任教員2名、非常勤講師の先生方、学務部国際課のスタッフ等々で最大限の効果を挙げるべく諸事業に取り組みました。基本的には昨年度同様に(1)来日可能な学生（あるいは既に日本に滞在している学生）は本学での授業に参加、(2)来日困難な学生については延期ないし中止、(3)ただし(2)のうちで希望する学生については本国から本学の授業にオンライン参加、という方針で臨み、実際には日本語授業や日本理解科目の大半はオンライン、もしくはオンラインと対面の併用（いわゆるハイブリッド）型での提供となりました。また、日本の教育や文化を留学生たちが実地に学ぶ機会の提供や交流事業等につきましても、大半を中止したり、オンライン形式での実施に切り替えたり、という形となりました。

それぞれの具体的な取り組みに関しましては、以下の記事をご覧くださいればと思いますが、全体的には昨年度より一歩前進とみております。修了式をハイブリッドで行うことで、修了証の一部を手渡しすることができましたし、留学生たちが日本文化に直接に触れる機会も少しは増えたようです。

COVID-19の収束の見通しは未だ不透明ではありますが、日本政府は水際対策を見直し、2022年3月以降の留学生の来日を緩和する方針を示し、今後は徐々に受入を再開していくことになりそうです。本センターも引き続きイレギュラーな運営を行っていくこととなりますが、世界各地の学生には日本

に強い関心をもち、日本で学ぶことを願う者が少なからずおります。本センターとしましては、そうした異国の学生たちにとっての学びの場を引き続き充実させていく所存でございます。

末筆になりましたが、今年度の本センターを支えてくださった学内・学外の方々に深く御礼申し上げるとともに、引き続きのご支援、ご鞭撻のほどを切にお願い申し上げます。

留学生センター長

岩田 康之

目次

はじめに

1. 全学留学生対象の事業	6
1.0 受入れ留学生数（学部および大学院正規生を除く）	6
1.1 日本語科目の構成	6
1.2 日本語1～5：開講枠数およびプレースメントテスト受験者数	6
1.3 日本語1～プレ日本語4：レベル別開講科目（春学期）	7
1.4 日本語1～5：レベル別開講科目（秋学期）	7
1.5 日本語集中コース（日本語5）	7
1.6 日本理解・多文化共修科目開講枠数	7
1.7 留学生による授業評価	8
1.8 研究・生活支援事業および見学・交流事業	8
2. 国費研究留学生および教員研修留学生（教研生）対象の事業	10
2.1 2020年度入学教員研修留学生と研究発表題目	10
2.2 2020年度入学教員研修留学生 主な行事	11
2.3 2021年度入学教員研修留学生	11
2.4 2021年度入学教員研修留学生 主な行事	11
3. 日本語日本文化研修プログラム留学生（日研生）対象の事業	13
3.1 2020年度10月入学日研生および修了レポート題目	13
3.2 2020年度10月入学日研生 春学期主な行事	14
3.3 2021年度10月入学日研生	14
3.4 2021年度10月入学日研生 主な行事	15
4. International Student Education Program (ISEP) 留学生対象の事業	15
4.1 2020年度10月入学 ISEP 生および個人研究題目	15
4.2 2021年度10月入学 ISEP 生	16
5. シラパコーン大学7+1プログラム留学生対象の事業	15
5.1 2021年度4月入学 シラパコーン大学7+1プログラム留学生	16
5.2 2021年4月入学 シラパコーン大学7+1プログラム留学生 主な行事	16
6. その他の活動	17
7. 教員の教育・研究活動	18

資料 1	日本語科目（日本語 1～5）一覧（*印は学部開設科目）	28
資料 2	日本理解科目一覧	31
資料 3	International Student Education Program（ISEP）科目一覧	32
資料 4	主な行事の写真	33
資料 5	各プログラム概要	33
	■日本語日本文化研修プログラム概要（2016.10～）	35
	■ISEPプログラム概要	36
	■教員研修プログラム	37
	■シラパコーン大学7+1プログラム	38

1. 全学留学生対象の事業 国際課でご確認

1.0 受入れ留学生数（学部および大学院正規生を除く）

	春学期					
	在籍	新規	計	在籍	新規	計
交換留学生*（一般）	6	19	25	19	13	32
交換留学生*（ISEP）	1	2	3	0	5	5
日本語日本文化研修 留学生	7	-	7	-	13**	13
教員研修留学生	10	-	10	10	9(3)**	19
国費研究留学生	1	0	1	2	0	2
私費研究生	4	13	17	4	16	20
SU7+1プログラム	-	5	5	-	-	0
計			68			91

*COVID-19感染拡大のため、交換留学生は春学期・秋学期とも来日できず、リモート受講となった。

**国費留学生は10月～11月に来日。来日まではリモート受講。

() 予備教育生人数

1.1 日本語科目の構成

	授業形態	必修・選択の別	クラスの決定方法
日本語1	一般 1科目当り 週2時間	選択	全学日本語プレースメン トテストならびに Can- do statements 調査によ る
日本語2			
日本語3			
日本語4			
日本語5	集中 週18時間	国費研究留学生・教員研修留学生で 日本語能力の低い者は必修	学習歴調査による

1.2 日本語1～5：開講枠数およびプレースメントテスト受験者数

	春学期	秋学期	計
開講枠数	45（枠）	47（枠）	92（枠）
プレースメントテスト受験者数	70（人）*	93（人）*	163（人）

*オンラインでテストを実施した。

1.3 日本語 1～プレ日本語 4：レベル別開講科目（春学期）

	総合	作文	講読	会話	漢字	聴解	文法	特別演習	計
日本語 1	1	1*	1	1*	1	1	1	3	10
日本語 2	1	2	1	2	1	1	1	3**	12
日本語 3	2	1	1	1	1	1	1	1**	9
日本語 4	4	1	1	1	1	1	-	-	9
プレ日本語 4	4	1	-	-	-	-	-	-	5

*これ以外に国語科教室で開設している学部の日本語科目が各 1 枠ある。

**合同レベル開講科目を含む。

1.4 日本語 1～5：レベル別開講科目（秋学期）

	総合	作文	講読	会話	漢字	聴解	文法	特別演習	プロジェクト	計
日本語 1	1	1*	1	1*	1	1	1	2	1**	10
日本語 2	1	1	1	1	1	1	1	2**		10
日本語 3	2	1	1	1	1	1	1	1**	-	9
日本語 4	4	1	1	1	1	1	-	-	-	9
日本語 5	4	1	1	1	2	-	-	-	-	99

*これ以外に国語科教室で開設している学部の日本語科目が各 1 枠ある。

**合同レベル開講科目を含む。

1.5 日本語集中コース（日本語 5）

	学期	開講枠数（科目別内訳）	受講者数（身分別内訳）
日本語 5	春	開設なし	-
	秋	9 枠/週 (総合 4・文字 2・会話 1・ 作文 1・講読 1)	3 名 (教員研修生 3 名)

1.6 日本理解・多文化共修科目開講枠数

	春学期	秋学期	計
多文化共修科目 (留学生センター開設 CA 科目)	3	3	6 (枠) *
日本理解 (留学生センター開講)	4	4	8 (枠) *

*ただし、日本理解 A と多文化共修科目 E、日本理解 F と多文化共修科目 F は同一科目である。

1.7 留学生による授業評価

春学期全体集計結果		問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	問 16
回答総数	平均	4.78	4.60	4.56	4.67	4.89	4.74	4.71	4.82	4.71	3.93	3.02
147	標準偏差	0.53	0.70	0.80	0.66	0.35	0.60	0.59	0.42	0.60	0.41	0.48

秋学期全体集計結果		問 6	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14	問 15	問 16
回答総数	平均	4.86	4.78	4.65	4.65	4.90	4.81	4.83	4.85	4.84	3.92	2.97
234	標準偏差	0.48	0.52	0.82	0.82	0.41	0.54	0.51	0.47	0.48	0.51	0.50

[アンケート項目]

問 6.授業科目名や目標にあった授業内容だった。	[5 4 3 2 1]
問 7.授業内容がよく理解できた。	[5 4 3 2 1]
問 8.興味を持って受講できた。	[5 4 3 2 1]
問 9.新しい知識・能力・技能が身についた。	[5 4 3 2 1]
問 10.教員は熱心だった。	[5 4 3 2 1]
問 11.教員の指示はわかりやすかった。	[5 4 3 2 1]
問 12.教員の説明は適切だった。	[5 4 3 2 1]
問 13.教員は質問にわかりやすく答えてくれた。	[5 4 3 2 1]
問 14.教員の話し方は聞き取りやすかった。	[5 4 3 2 1]
問 15.教材は適切だった。	[5 4 3 2 1]
問 16. (日本語のクラスについて聞きます。) あなたにとってこのクラスは、	
[5:むずかしすぎた 4:むずかしかった 3:ちょうどよかった 2:やさしかった 1:やさしすぎた]	

1.8 研究・生活支援事業および見学・交流事業

事業内容	実施日	参加者数 (延数)
研究・生活支援事業		
新入学生オリエンテーション	コロナ禍のため未実施	
新入生ウェルカムパーティ [共催:生協]	コロナ禍のため未実施	
防災体験学習 (立川防災館)	コロナ禍のため中止	
にほんごサポートルーム	コロナ禍のため未実施。留学生センター教員の指導のもと、学生団体の INTER によるオンラインの「日本語トークルーム」が行われた。	

オフィスアワーによる相談時間	週 6 回	日直教員で対応
見学・交流事業（附属学校及び公立学校との交流）		
附属竹早小学校での交流授業	12月8日 (オンラインで実施)	教研究生9名、 ISEP生9名
附属小金井小学校での交流授業	12月8日、15日 12月15日	日研究生13名 教研究生9名、 ISEP生5名
東京都立国際高等学校	1月22日	全学留学生19名
東京都立淵江高等学校	12月22日オンライン による実施	日研究生13名
見学・交流事業（その他の見学・交流事業）		
三鷹の森ジブリ美術館	4月8日、4月9日	日研究生7名
国際交流合宿	コロナ禍のため未実施	
歌舞伎鑑賞教室	6月9日	教研究生・日研究生・ 研究生 計23名
忍者ワークショップ（オンライン）	6月30日	全学留学生 24名
手描き友禅体験教室	7月14日	教研究生・日研究生・ 研究生 計15名
富士登山体験(オンライン)	7月14日	シラパコンプログラム ラム生5名
秋葉原文化体験(オンライン)	7月21日	シラパコンプログラム ラム生5名
折り紙体験(オンライン)	7月28日	シラパコンプログラム ラム生5名
秋のお散歩（貫井神社～野川～武蔵小金井）	コロナ禍のため未実施	
江戸東京たてもの園	11月24日(2021年)	教研究生8名、 日研究生13名
文楽鑑賞教室	12月14日	国費留学生27名、 学部生1名
大相撲トーナメント見学（国技館）	コロナ禍のため 開催中止	
和菓子ワークショップ（和菓子作りデモンストレーションと体験）	コロナ禍のため未実施	
留学生カフェ	コロナ禍のため未実施。留学生センター教員の指導のもと、学生団体の INTER によるオンラインの留学生との交流イベントが行われた。	

海外の学校教育事情 Education and Culture Abroad	春学期毎週 1 回 オンラインによる実施 (計 5 回)	<協力者>教研生 5 名 登録者 26 名
留学生センター主催講演会 「ロヒンギャから見たミャンマー情勢」 講師：アウンティン氏	5 月 26 日	参加者 116 名 内訳：学芸大生 36 名、 学芸大教職員 8 名、他大学 22 名、 一般 50 名

2. 国費研究留学生および教員研修留学生（教研生）対象の事業

2.1 2020 年度入学教員研修留学生と研究発表題目

氏 名	国 籍	指導教員	予備教育受入
TANG, WEI LUN AARON	シンガポール	生尾 光	
日本とシンガポールの理科教育カリキュラムおよび学習教材の比較			
KPODO, FREDA AKUYO	ガーナ	末松裕基	有
Teacher – A Leader for Every Child, Every Classroom, and Every Day in Japan.			
MASAISAI, SAYMORE	ジンバブエ	末松裕基	有
Educational Reforms in Zimbabwe and Japan.			
BIHATA, MAYAMBA PLATINI	コンゴ（民）	馬場哲生	有
Using ICT Tools to Build Communicative Competence for Enhancing Interaction in EFL Large Classes: The Case of Japan and DR Congo.			
JANI, PRANAVKUMAR	インド	末松裕基	有
Educational System and Reforms in Japan.			
SEONG, YEONBIN	韓国	佐々木幸寿	有
日本と韓国の教員採用試験比較 – 東京都小学校教員採用試験と韓国国家試験を中心に –			
NOH SOOYEUN	韓国	品田瑞穂	有
韓国と日本の不登校問題 – 不登校の現況とその対応方法の検討を中心に –			
NWADOZIE, CHARLES CHIMEZIE	ナイジェリア	中島裕昭	有
The Different Expressive Arts Forms and their Cognitive Effects on Early Childhood Education and Care: A Comparative Study of Japan and West Africa.			
HUSSEIN ZAINABU	マラウイ	末松裕基	有
A Study of the Effects of Decentralisation on Parent Participation in Education in Japan.			

HOO, WAI YEE	マレーシア	末松裕基	有
Comparative study: The effect of leadership behaviour on teacher's stress in Japan and Malaysia.			

(計 10 名)

* 『2020.10～2022.3 教員研修留学生研修プログラム最終報告書』として刊行予定

2.2 2020 年度入学教員研修留学生 主な行事

2021

May	25 (Thu)	Orientation II
April	12 (Mon)	Classbegin
June	22 (Tue)	No class
August	02 (Mon)	Classes end
September	27 (Mon)	Orientation III
October	15 (Fri)	Classes begin
November	01-02 (Mon,Tue)	Koganei Festival (No class)
November	03 (Wed)	Culture Day (No class)
November	23 (Tue)	Labour Thanksgiving Day (No class)
December	28 (Tue)	The last school day before holiday

2022

January	04 (Tue)	Classes restart
January	10 (Mon)	Coming-of-Age Day (No class)
	14 (Fri)	Preparation for entrance examination (No class)
February	10(Thu)	Classes end (Make-up class of Monday class)
	11 (Fri) ~ 17 (Thu)	Period for make-up classes

[* Feb 11 (Fri) National Foundation Day (School day)]

	14 (Mon)	Closing date for submission of research report
	24 (Thu)	Presentation of research report & The closing ceremony

2.3 2021 年度入学教員研修留学生

国名	氏名	指導教員
大韓民国	ミン スヒョン	岡 智之
大韓民国	ペ ヒョゴン	上杉 嘉見
大韓民国	チェ ソヒョン	粕谷 恭子
コンゴ民主共和国	ムズィンガ ラビ-オスカー レムフ	末松 裕基
インドネシア	ドナ アルミン デイ	阿部 始子
大韓民国	チョン ヒョンジン	白倉 美里
大韓民国	ユン ソンウン	高橋 純
大韓民国	パク ジョンヒョン	粕谷 恭子
ボツワナ	マサラ ツェケディ	荒川 悦雄

(9名)

2.4 2021 年度入学教員研修留学生 主な行事

- 2021** October 15 (Fri) Classes begin
 Dec8 (Wed) Visit to Takehaya Elementary School(online)
 Dec14 (Tue) Discover Bunraku (National theatre)
 Dec15 (Wed) Visit to Affiliated Koganei Elementary School
 Dec22 (Wed) Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum
- 2022** Feb10 (Thu) Classes end
 Mid-April Orientation II

3. 日本語日本文化研修プログラム留学生（日研生）対象の事業

3.1 2020年度10月入学日研生および修了レポート題目

氏名	国籍・所属大学	指導教員
修了レポート題目		
イヴァノヴァ マリヤ	北東連邦大学	許夏玲
アニメにみる日本の地方文化		
ドアン ベルカイ	国立チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学	許夏玲
同性婚に対する意識・感情及び日本国憲法での解釈に関する調査 —東京在住の日本人を対象に—		
アンドレアナ タシェヴァ ヨルダノヴァ	ソフィア大学 クリメント・オフリツキ	有澤知乃
文楽技芸員の修行 —入門方法を中心に道のりを探る—		
ワンニアーラッチ セトミニ スサーラー	スリランカ サバラガムワ大学	小西円
日本語教育において教材となるアニメ・マンガについて —外国人日本語学習者を対象に—		
シュナイダー・イザベル・ルシア	ハイデルベルク大学	岡智之
日本人とフィリピン人を親に持つ子どもの —日本での生活とアイデンティティの発見—		
デウィ ユリアナ	インドネシア教育大学	許夏玲
Eメールにおける敬語の誤用分析 —中上級日本語学習者を対象に—		
メート ミヒャエル アントン	フリードリッヒアレクサンダー大学 エアランゲンニュルンベルク	伊能裕晃
村上龍論 —村上龍の不登校とひきこもりに関する小説を中心に—		

(計7名)

* 『2020.10～2021.8 日本語日本文化研修留学生 研修レポート集』として刊行

3.2 2020 年度 10 月入学日研生 春学期主な行事

- 4/8 (木) 三鷹の森ジブリ美術館 (第 1 組)
- 4/9 (金) 三鷹の森ジブリ美術館 (第 2 組)
- 4/28 (水) ライブラリーツアー (図書館) [オンライン]
- 6/9 (水) 歌舞伎鑑賞教室
- 6/23 (水) 研究レポートの中間発表会
- 6/30 (水) 忍者ワークショップ[オンライン]
- 7/14 (水) 手描き友禅体験教室
- 7/28 (水) 国際課へ研究レポートを提出
- 8/4 (水) 研究レポートの発表会と修了式

3.3 2021 年度 10 月入学日研生

氏名		指導教員
オル オウズハン ムハムメット	トルコ	岡 智之
ジェヴィズ セハー	トルコ	小西 円
キュルカン アイチャ	トルコ	小西 円
トンバン ウアブン	タイ	伊能 裕晃
ジョン ソヒ	韓国	有澤 知乃
コ ウンビ	韓国	山出 裕子
ファム フ サン	ベトナム	許 夏玲
フロレンシオ クイン ダニスレネ	ブラジル	岡 智之
テュルハン アフメット フルカン	トルコ	伊能 裕晃
ユルズルム ムラト	トルコ	有澤 知乃
フィロソピ フィルマン フィルダウザ	インドネシア	許 夏玲
アプラクシン ハンス フィリップ	スウェーデン	小西 円
ペーターライト ニコラス	ドイツ	許 夏玲

(計 13 名)

3.4 2021年度10月入学日研生 主な行事

- 10/27 元日研生とのオンライン交流 【オンライン】
- 10/27 図書館オリエンテーション 【オンライン】
- 11/24 江戸東京たてもの園の見学・体験
- 12/8 小金井小学校との交流（1） 日研生から小学生へ「自分の国の紹介」
- 12/14 「外国人のための文楽鑑賞教室 Discoverer Bunraku」の見学
- 12/15 小金井小学校との交流（2） 小学生から日研生へ「日本文化の紹介」
- 12/22 都立淵江高校との交流 【オンライン】
- 1/12 立川防災館の見学・体験 → コロナ禍により中止
- 1/26 研究レポート構想発表（1）
- 2/2 研究レポート構想発表（2）
- 2/9 研究レポート構想発表（3）

4. International Student Education Program (ISEP) 留学生対象の事業

4.1 2020年度10月入学 ISEP 生および Individual Study(個人研究)題目

	氏名	所属大学	Individual Study (個人研究) 題目	指導教員
1	Nihade Benaissa	University of Grenoble Alpes (グルノーブル・アルプ大学)	Building Collectivity and Individuality at School: Comparative Study between School Systems in Japan and France	Deguchi, Masatoshi (出口雅敏)
2	Hou, Dongliang (侯 東良)*	Beijing Normal University (北京師範大学)	Comparison and Analysis of the Differences Between High School Juku Schools Expenditure in China and Japan	Iwata, Yasuyuki (岩田康之)
3	Li, Lanyu (李 藍玉)*	Shanghai Normal University (上海師範大学)	A study on the Spread of Haruki Murakami's Literature in China	Ishii, Masami (石井正巳)

*2021年春学期のみ在籍

『ISEP Individual Study 東京学芸大学短期留学プログラム個人研究レポート集 Autumn 2020-Spring 2021』(PDF版)として刊行

4.2 2021 年度 10 月入学 ISEP 生

	氏名	所属大学	指導教員
1	Wang, Sing-Yi (王 馨儀)	National Taiwan University (国立台湾大学)	Ushigaki, Yuya (牛垣 雄矢)
2	Chan, Sze Pui (陳 詩蓓)	Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	Matsukawa, Seiichi (松川 誠一)
3	Li, Tsz Qiu (李 芷翹)	Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	Konishi, Kodai (小西 公大)
4	Yeung, Ting Long (楊 庭朗)	Chinese University of Hong Kong (香港中文大学)	Tetsuya, Etsuro (鉄矢 悦朗)
5	Merwann Raber Ziani	University of Grenoble Alpes (グルノーブル・アルプ大学)	Arisawa, Shino (有澤 知乃)

5. シラパコーン大学7+1プログラム留学生対象の事業

5.1 2021 年度 4 月入学 シラパコーン大学7+1プログラム留学生

氏名	所属大学
磯田賢治	タイ・シラパコーン大学
チャロンミッタパート・チダーパ	タイ・シラパコーン大学
ケットヨー・チュターポーン	タイ・シラパコーン大学
シンタナティップ・タッティ	タイ・シラパコーン大学
タウィーラブ・オンニダー	タイ・シラパコーン大学

※渡日ができず、自国からオンラインにより履修。

(計5名)

5.2 2021 年 4 月入学 シラパコーン大学7+1プログラム留学生 主な行事

- 4/14 オリエンテーション、
- 5/9 発表会 1 タイと日本の違いについて
- 7/7 発表会 2 インタビュープロジェクト
- 7/14 富士山登山体験オンラインワークショップ
- 7/21 秋葉原文化体験オンラインワークショップ
- 7/28 折り紙体験オンラインワークショップ

6. その他の活動

- 遠隔授業を行うにあたり、講師研修会「学芸大 WebClass の e ポートフォリオの使用
方法」「Teams の使用方法(春学期、秋学期)」を行った。
- 渡日ができず、海外からの受講することになった留学生、非常勤講師に対して、
学芸大 WebClass や Teams の使用方法についての研修会、授業に使用する ICT
機器の貸し出しや整備等を行った。
- Facebook : Tokyo Gakugei University Alumni Network of International Students の
ページを引き続き運営し、周知に努めた。
- 小金井市主催の外国人スピーチコンテストへの後援と審査員の協力を行った(3月6
日)
- 全学留学生対象(主に非正規生)のメーリングリストの更新と利用
- 各種の行事やイベントのウェブ申込みシステムの推進
- 大学院生(次世代日本型教育システム研究開発専攻日本語教育領域)の授業見学の
受入
- 刊行物
 - (1) 『2021 年度 東京学芸大学留学生センター年報』
 - (3) 『2019.10-2021.3 教員研修留学生研修プログラム最終報告書』
 - (3) 『2020.10-2021.8 日本語日本文化研修留学生修了レポート集』
 - (4) 『ISEP Individual Study 東京学芸大学短期留学プログラム個人研究レポート集
Autumn 2020-Spring 2021』
 - (5) 『2021 年度 シラパコーン大学 7+1 プログラム文集』

7. 教員の教育・研究活動

■有澤 知乃

【センター内主担当】 日本理解教育担当（専任教員）

【研究分野】 民族音楽学，日本研究

【研究活動】

①論文

岩川みやび・有澤知乃（2022）「よさこい音楽の特徴と音楽制作における作曲家と踊り子の意図・意識—埼玉県朝霞市の彩夏祭を事例に—」『東京学芸大学紀要 総合教育科学系』 第73集, pp. 677-691

②教科書

有澤知乃（2022）「カーティス・パターソン：箏曲家インタビュー」東京外国語大学国際日本研究センター編『日本をたどり直す 29 の方法 教師用別冊』東京外国語大学出版会, pp. 152-157

【教育活動】

1. 学部・センター共通開設科目

（春学期）「Global Japan Studies A」

「Exploring the Cultural Diversity of Japan (I)」

（秋学期）「Global Japan Studies B」

「Exploring the Cultural Diversity of Japan (II)」

「Traditional Performing Arts of Japan」

「多文化共修科目 D（世界の民族と文化）」

2. 学部開設科目

（春学期）「学芸フロンティア科目 C」

3. 大学院開設科目

（春学期）「Global Citizenship and Education」

「Global Education from Intercultural/Interdisciplinary
Perspective」

（秋学期）「地域文化（日本 A）」

4. ゼミ

（春学期）大学院修論ゼミ

（秋学期）大学院修論ゼミ

5. 指導学生

（春学期）修士 1 名、研究生 1 名、日研生 1 名

（秋学期）修士 1 名、研究生 1 名、日研生 2 名、ISEP 生 1 名

6. 論文審査

修士論文 主査1名、副査1名

【その他の活動】

①学内

1. 国際戦略推進本部委員
2. 国際戦略推進本部外国人留学生の受入れとグローバル人材の養成プロジェクト実施委員会 (ISSUP) 委員
3. 留学生教育プログラム (ISEP) コーディネーター

②学外

科学研究費補助金 基盤 (C) 「多様化する中華学校における音楽教育の民族音楽学的研究」 (研究代表者)

【所属学会】

International Council for Traditional Music, European Association for Japanese Studies

東洋音楽学会, 日本音楽学会

■伊能 裕晃

【センター内主担当】 日本語教育担当（特任教員）

【研究分野】 日本語教育学，文章・談話論

【教育活動】

1. 著書

1. ยูโกะ มิโยชิ, ยูการิ ฮนตะ, ฮิโรอากิ อิโนะ, ซาโตมิ คुरुสึ, คานากะ มาเอโบ (2021.6)
『Go! JLPT N4 คำศัพท์』 TPA
2. ยูโกะ มิโยชิ, ยูการิ ฮนตะ, ฮิโรอากิ อิโนะ, ซาโตมิ คुरुสึ, คานากะ มาเอโบ (2021.8)
『Go! JLPT N3 คำศัพท์』 TPA
3. Miyoshi Yuko , Honda Yukari , Inou Hiroaki , Kurusu Satomi , Naebo Kanako (2021.7), “JLPT Vocabulary N4 New Master Series The Japanese language proficiency” , Goyal Publishers
4. Inou Hiroaki , Honda Yukari , Kurusu Satomi , Naebo Kanako , Abo Kimie , Miyata Koji (2021.8), “JLPT Vocabulary N3 New Master Series The Japanese language proficiency” , Goyal Publishers
5. 三好裕子, 本田ゆかり, 伊能裕晃, 来栖里美, 前坊香菜子 (2021.11) 『新完全掌握日语能力考试：N4级词汇』 北京语言大学出版社

2. 留学生センター開設科目

（春学期） 「日本語3総合A1」「日本語3総合A2」

「シラパコーン特別演習」

（秋学期） 「日本語3総合B1」「日本語3総合B2」

「日本語1・2特別演習A（プロジェクト）」（「学芸フロンティア科目F」との合同授業）

3. 学部開設科目

（春学期） 「多文化共修科目C（世界の言語と文化）」

（秋学期） 「学芸フロンティア科目F」

【その他の活動】

学内

協定校コーディネーター（インドネシア・インドネシア教育大学）

【所属学会】

日本語教育学会，留学生教育学会，日本文体論学会，早稲田大学日本語学会

■岡 智之

【センター内主担当】 日本理解教育担当（専任教員）

【研究分野】 言語学、日本語文法

【研究活動】

① 著書・論文

「認知言語学から場の言語学へー新しい言語学のパラダイムの展開」『場と言語・コミュニケーション』岡智之・井出祥子・大塚正之・櫻井千佳子編、ひつじ書房、2022年1月

② 口頭発表

「オンラインでの多文化共修授業の振り返り」2021年度異文化間教育学会第42回大会
2021年6月12日、オンライン大会

③ 招待講義

1. 「場の言語学への招待」日本手話学会第1回手話学セミナー招聘講義、2021年8月7日、日本社会事業大学
2. 「場の言語学の日本語教育への応用ー手話学との対話から」日本手話学会第2回手話学セミナー招聘講義、2021年9月4日、オンライン開催

【教育活動】

1. 留学生センター開講科目

（春学期） 「日本語1文法A」

（秋学期） 「日本語5会話B」

2. 学部開講科目

（春学期） 「多文化共修科目A（多文化社会の課題解決プロジェクト）」

（秋学期） 「多文化共修科目B（多言語社会とコミュニケーション）」

「日本語教育演習」

3. 大学院開設科目

（春学期） 「日本語教育IA」「フィールド研究B」

「次世代日本型教育と日本語教育」（オムニバス科目4回）

（秋学期） 「日本語教育IIA」「フィールド研究A」

4. ゼミ等

（春学期） 修論ゼミ（金4）（秋学期） 修論ゼミ（金4）

5. 指導学生：修士5名、研究生3名、日研生3名（春1・秋2）、交換留学生1名

6. 修士論文審査：主査3名、副査10名

【その他の活動】

① 学内

1. 国際交流グループ INTR 顧問（にほんごトークルーム、オンラインイベントなど）
2. 東京学芸大学ヒューマンライブラリー2021, 2021年11月24日オンライン開催（実行委員会代表）、報告書あり

② 学外

1. 「場の言語・コミュニケーション研究会」事務局長『場と言語・コミュニケーション』編集会議（年間3回会議主催）
2. ナル表現研究会参加（年間3回開催）
3. 小金井市国際支援協会（KISSA）外国につながる児童生徒の支援協力

【所属学会】

日本認知言語学会, 日本語教育学会, 異文化間教育学会, 国立大学留学生指導研究協議会

■小西 円

【センター内主担当】 日本語教育担当（専任教員）

【研究分野】 日本語教育学、日本語学

【研究活動】

①著書

中俣尚己・加藤恵梨・小口悠紀子・小西円・建石始（2021）『JLPT N3 ミニストーリーで覚える 日本語能力試験ベスト単語 合格 2100』The Japan Times

②論文

1. 中俣尚己・小口悠紀子・小西円・建石始・堀内仁（2021）「自然会話コーパスを基にした『話題別日本語語彙表』」『計量国語学』33(3), pp. 194-204
2. 小西円・シュピツァ ドラガナ（2022）「交流を意識したオンライン日本語教育実践が参加者の学びの意欲に与える影響－教師役と学習者役の双方に着目して－」『東京学芸大学紀要 総合教育科学系』第73集, pp. 693-705

③学会発表

須藤潤・小西円（2022）「自問発話「何というか」の音調の多様性と習得について－日本語学習者と母語話者に焦点をあてて－」社会言語科学会第46回大会（オンライン開催）2022年3月4日

④その他発表

小西円（2022）「話題・地域の異なりからみた自問発話」科研費成果物公開シンポジウム「話題とコーパスと日本語教育」（オンライン開催）2022年3月20日

【教育活動】

1. 留学生センター開設科目
（春学期）「日本語4作文A」
（秋学期）「日研生特別演習」
2. 学部開設科目
（春学期）「日本語教育概論」、「日本語教育基礎研究」
（秋学期）「日本語教育教材開発論」
3. 大学院開設科目
（春学期）「日本語教育IC」、「次世代日本型教育と日本語教育」（オムニバス）、
「フィールド研究B」
（秋学期）「日本語教育IIC」、「フィールド研究A」
4. その他ゼミ
（春学期）大学院修論ゼミ
（秋学期）学部卒論ゼミ、大学院修論ゼミ

5. 指導学生
学部：9名、修士：6名、研究生：1名、日研生：1名（春学期）、3名（秋学期）
6. 論文指導
卒業論文：4名（主査）、6名（副査） 修士論文：3名（主査）、10名（副査）

【その他の活動】

①学内

1. 親好会幹事
2. 2020年～2021年度教員研修留学プログラム担当
3. 2021年～2022年度日本語日本文化研修留学生プログラム担当
4. 修士課程 次世代日本型教育システム研究開発専攻日本語教育領域 領域代表
5. 国語科教室兼任教員

②学外

1. 科学研究費補助金 若手研究「テキストの特徴からみた日本語教育のための類義表現研究」
（研究代表者）
2. 科学研究費補助金 基盤研究（B）「話題が語彙・文法・談話ストラテジーに与える影響の
解明」（研究分担者）
3. 第二言語習得研究会 ジャーナル委員会 副委員長
4. 日本語文法学会 総務委員

【所属学会】

日本語教育学会、日本語文法学会、社会言語科学会、ヨーロッパ日本語教師会、
計量国語学会

■許 夏玲

【センター内主担当】日本語教育担当（専任教員）

【研究分野】 談話分析，語用論，対照言語研究

【研究活動】

論文

1. 「日本語支援教室での保護者支援と多言語読み聞かせの活動の可能性」江口典子・許夏玲
『東京学芸大学紀要 総合教育科学系 II』第 73 集, pp. 655-666
2. 「外国人児童への日本語の支援活動を通じて考えるサポートの心得」
ソムブーンポーン ティーラカーン・魏小花 ・許夏玲
『東京学芸大学紀要 総合教育科学系 II』第 73 集, pp. 667-676
3. 「接続詞として用いられる『なので』の意味機能への再考察-語用論的観点に基づいて-」
『日本学刊』第 25 号（印刷中），香港日本語教育研究会

【教育活動】

1. 留学生センター開設科目
（春学期） 「日本語 3 作文 A」
（秋学期） 「日本語 3 文法 B」，「日本語 4 作文 B」，「日本語 5 作文 B」
2. 学部開設科目（春学期） 「日本語教育概説」
3. 大学院開設科目
（春学期） 「フィールド研究 B」，「次世代日本型教育と日本語教育」（オムニバス科目），「日本語教育 IB」，「特別研究 I」
（秋学期） 「日本語教育 IIB」，「フィールド研究 A」，「特別研究 II」
4. 修士論文主査 7 名，副査 4 名，研究指導（修士論文 M1 生 4 名，研究生 4 名，日研生 6 名）
5. 自主日本語ゼミ（春学期・秋学期） 月 4 回
6. カフェ講座「海外の学校教育事情」（春学期週 1 回、計 5 回）コーディネーター
7. 多文化共生教育セミナー「地域の国際交流と今後の課題について」（西間絵美氏[小平市国際交流協会]）（6 月 30 日）
8. 講演会「心身のオノマトペの形態と意味」（杉村泰氏 [名古屋大学人文学研究科]）
（1 月 12 日）

【その他の活動】

① 学内

1. 留学生センター主任
2. 2020 年度～2021 年度日本語日本文化研修留学プログラム担当
3. 留学生センター運営委員会 委員
4. 大学入学共通テスト成績処理事項等の検査（2 月 8 日）

② 学外

第9回小金井市主催外国人スピーチコンテスト・審査員 2022. 3. 6

【所属学会】 日本語教育学会，社会言語科学会，香港日本語教育研究会

■山出裕子

【センター内主担当】日本語教育担当（特任教員）

【研究分野】 日本語教育、社会言語学、比較文学

【研究活動】

学会発表

山出裕子 「文学教材を用いた CLIL 日本語教育の可能性」 『第 27 回 プリンストン大学日本語フォーラム』 2021 年 5 月 8 日.

【教育活動】

1. センター開設科目

（春学期）「日本語プレ4 総合 A」

（秋学期）「日本語5 総合 B」「教研生特別演習」

2. 学部開設科目

（春学期）「日本語教育特論」

3. 大学院開設科目

（春学期）「次世代日本型教育と日本語教育」（オムニバス科目）

4. 研究指導 日研生 1 名

【その他の活動】

学外

1. 科学研究費補助金 基盤 B（研究代表者 山崎真紀子）（日本大学）

「日中戦時下の中国語雑誌『女声』研究」（研究協力者）

【所属学会】

ヨーロッパ日本研究協会、オーストラリア日本学会

J-CLIL 学会、アジア系アメリカ文学研究会

資料1 日本語科目（日本語1～5）一覧（*印は学部開設科目）

2021年度春学期

科目名	担当教員	曜日・時限
日本語1 総合 A	荒巻朋子	木 3
日本語1 作文 A1	石崎晶子	火 3
*日本語1 作文 A2（表現法 A・ライティング I）	北澤尚	木 1
日本語1 講読 A	新谷あゆり	金 5
*日本語1 会話 A1（表現法 C・口頭コミュニケーション I）	南浦涼介	月 1
日本語1 会話 A2	桂千佳子	金 2
日本語1 文法 A	岡智之	月 2
日本語1 聴解 A	岩崎拓也	金 4
日本語1 漢字 A	坂田睦深	火 2
日本語1 特別演習 A（ビジネス日本語）	福島恵美子	木 4
日本語1 特別演習 A（ドラマで学ぶ日本語）	宮本典以子	水 2
日本語1 特別演習 A（時事で学ぶ日本語）	笹目実	金 3
日本語2 総合 A	横山和子	月 2
日本語2 作文 A1	桂千佳子	月 3
日本語2 作文 A2	岩崎拓也	金 3
日本語2 講読 A	笹目実	水 2
日本語2 会話 A1	坂田睦深	火 1
日本語2 会話 A2	福島恵美子	木 3
日本語2 文法 A	荒巻朋子	木 2
日本語2 漢字 A	石崎晶子	火 2
日本語2 聴解 A	新谷あゆり	金 4
日本語2 特別演習 A（ビジネス日本語）	笹目実	金 2
日本語2 特別演習 A（マンガで学ぶ日本語）	宮本典以子	水 1
日本語2／3 特別演習 A（多読）	桂千佳子	金 1
日本語3 総合 A1	伊能裕晃	木 3
日本語3 総合 A2	伊能裕晃	木 4
日本語3 作文 A	許夏玲	木 2
日本語3 講読 A	李貞暎	月 1
日本語3 会話 A	横山和子	月 3

日本語3 漢字 A	李貞暎	木1
日本語3 文法 A	桂千佳子	月2
日本語3 聴解 A	横田亜朱紗	金4
日本語4 総合 A	今井美登里 宮本典以子	火1・2 木1・2
日本語4 作文 A	小西円	金4
日本語4 講読 A	横田亜朱紗	金3
日本語4 会話 A	小池恵己子	木3
日本語4 漢字 A	李貞暎	月2
日本語4 聴解 A	李貞暎	月3
日本語プレ4 総合 A	山出裕子 鈴木美恵子	月1・2 木1・2
日本語プレ4 会話 A	笹目実	水1

2021 年度秋学期

科目名	担当教員	曜日・時限
日本語1 総合 B	稲田直子	木2
日本語1 作文 B1	横山和子	月3
*日本語1 作文 B2 (表現法 B・ライティングⅡ)	北澤尚	木1
日本語1 講読 B	新谷あゆり	金4
*日本語1 会話 B1 (表現法 D・プレゼンテーションⅡ)	南浦涼介	月1
日本語1 会話 B2	荒巻朋子	木3
日本語1 文法 B	石崎晶子	火2
日本語1 聴解 B	横田亜朱紗	金3
日本語1 漢字 B	笹目実	月2
日本語1 特別演習 B (ビジネス日本語)	福島恵美子	木4
日本語1 特別演習 B (ドラマで学ぶ日本語)	宮本典以子	水1
*日本語1/2 特別演習 B (プロジェクト)	伊能裕晃	金2
日本語2 総合 B	横山和子	月2
日本語2 作文 B	小池恵己子	木1
日本語2 講読 B	横田亜朱紗	金4
日本語2 会話 B	坂田睦深	火1

日本語 2 文法 B	荒巻朋子	木 2
日本語 2 聴解 B	福島恵美子	木 3
日本語 2 漢字 B	李貞暎	水 1
日本語 2 特別演習 B (マンガで学ぶ日本語)	宮本典以子	水 2
日本語 2 / 3 特別演習 B (多読)	桂千佳子	金 6
日本語 3 総合 B1	伊能裕晃	火 1
日本語 3 総合 B2	伊能裕晃	火 2
日本語 3 作文 B	桂千佳子	月 6
日本語 3 講読 B	岩崎拓也	金 2
日本語 3 会話 B	李貞暎	月 5
日本語 3 文法 B	許夏玲	水 6
日本語 3 聴解 B	新谷あゆり	金 3
日本語 3 漢字 B	稲田直子	木 1
日本語 4 総合 B	今井美登里 笹目実	火 4・5 水 4・5
日本語 4 作文 B	許夏玲	木 5
日本語 4 講読 B	飯野清士	金 2
日本語 4 会話 B	宮本典以子	木 4
日本語 4 漢字 B	李貞暎	月 4
日本語 4 聴解 B	桂千佳子	月 5
日本語 5 総合 B	山出裕子 鈴木美恵子	月 1・2 木 1・2
日本語 5 作文 B	許夏玲	水 2
日本語 5 講読 B	石崎晶子	木 3
日本語 5 会話 B	岡智之	水 1
日本語 5 漢字 B	坂田睦深 飯野清士	木 1 金 1

資料2 日本理解科目一覧

2021 年度春学期

科目名	担当教員	曜日・時限
日本理解 A (教育) / 多文化共修科目 D	李 紅実	木 4
日本理解 C (人文)	齋藤 敬太	金 2
日本理解 E (人文)	高崎 恵	金 5
日本理解 G (自然)	澤田康徳	火 1
多文化共修科目 A「多文化社会の問題解決プロジェクト」	岡 智之	木 5
多文化共修科目 C「世界の言語と文化」	伊能 裕晃	月 1

2020 年度秋学期

科目名	担当教員	曜日・時限
日本理解 B (教育)	遠座 知恵	木 3
日本理解 D (人文)	千田 洋幸	金 2
日本理解 F (社会) / 多文化共修科目 F	加藤 拓	金 1
日本理解 H (芸術)	石井 健	金 4
多文化共修科目 B「多言語社会とコミュニケーション」	岡 智之	木 5
多文化共修科目 D「世界の民族と文化」	有澤知乃	火 3

資料3 短期留学プログラム（ISEP）科目一覧

2021 年度春学期

	科目名	担当教員
1	Global Japan Studies A	有澤 知乃（留学生センター）
2	Educational System and School Reform in Japan	末松 裕基（学校教育教室）
3	Cross-Cultural Ideas and Activities	戸田 孝子（国際教育教室）
4	Cross-Cultural Discussion and Presentation	戸田 孝子（国際教育教室）
5	Cultural Social Psychology of the Japanese	杉森 新吉（学校心理学教室） David Wong（客員准教授）
6	Introduction to Psychophysiology	池田 一成（学校心理学教室）
7	The Aesthetics and Affects of Cuteness	Joshua P. Dale（英語科教室）
8	Exploring the Cultural Diversity of Japan (I)	有澤 知乃（留学生センター）
9	Theatre Workshop	高尾 隆（表現コミュニケーション教室）

2021 年度秋学期

	科目名	担当教員
1	Global Japan Studies B	有澤 知乃（留学生センター）
2	Study of Japanese Schools	前原 健二（次世代教育研究センター）
3	Cross-Cultural Teaching Practice	戸田 孝子（国際教育教室）
4	Exploring the Cultural Diversity of Japan (II)	有澤 知乃（留学生センター）
5	Critical Issues in Contemporary Japanese Society	オムニバス, コーディネーター: 白倉美里（英語科教室）
6	Cultural Identity and Cultural Difference	Joshua P. Dale（英語科教室）
7	Japanese Business Enterprises	原田 和雄（理科教室）
8	A Study of Traditional Metal Carving Techniques	古瀬 正浩（美術科教室）
9	Traditional Performing Arts of Japan	有澤 知乃（留学生センター）
10	Sports and Physical Activities for Children in Japan	鈴木 直樹（保健体育科教室）
11	Table Tennis	渡辺 雅之（保健体育科教室）

資料4 主な行事の写真

文楽鑑賞教室 (2021/12/14)



附属小金井小学校との交流授業(教研生) (2021/12/15)





春の桜の下で (2020年10月入学の日研究生)



三鷹の森ジブリ美術館 (2021/4/8)



東京手描き友禅教室 (2021/7/14)



日本科学未来館 (2020/12/16)



留学プログラムの合同研究発表会 (2021/8/4)



江戸東京たてももの園 (2021/11/24)
2021年10月入学の日研究生

資料5 各プログラム概要

■日本語日本文化研修プログラム概要

1 研修内容

以下の6分野にわかれています。

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| (1)日本語科目 | (2)日本理解科目 | (3)日研生特別演習 |
| (4)専門研究 | (5)個人研究 | (6)文化交流 |

(1) 日本語科目

各学期のはじめにプレースメントテストがあります。留学生対象の日本語科目を受講したい人はかならず受けてください。

留学生対象の日本語科目は「選択科目」です。日本語力が十分にある人は、専門研究を通して日本語力を高めることもできます。

(2) 日本理解科目

留学生対象の日本理解に関する科目として、「日本理解」8科目（秋学期：B,D,F,H、春学期：A,C,E,G）、「多文化共修科目」4科目（秋学期：B,D、春学期：A,C）があります。これらの科目は「選択必修科目」です。この中から最低2科目を選んで受講してください。

(3) 日研生特別演習

日研生のための「日研生特別演習」（秋学期）・「日研生特別研究」（春学期）があります。これらは「必修科目」です。かならず出席してください。

(4) 専門研究

自分の研究テーマや興味・関心、日本語力を考えて、指導教員とよく相談し、必要な科目を選択してください。留学生対象科目以外に学部の開設科目も受講できます。

(5) 個人研究

研修修了までに、レポートにまとめて提出します。テーマについては、指導教員とよく相談してください。「日研生特別研究」の時間帯で、レポートの内容について発表してもらいます。

(6) 文化交流(学生交流、地域交流、見学旅行ほか)

大学の企画のほかに、民間団体や自治体主催のホームステイ・プログラムや小中学校の国際理解プログラム、地域の行事などがあります。大学に案内がきた場合は、国際課の掲示板に掲示しますので、各自で申し込んでください。

2 修了証書と修了要件

1年間の研修を終え、その成果を指導教員が認めたものについては、本学学長名において修了証書を授与します。修了のためには、つぎの4点が必要です。

- a. 上記(2)を2科目以上履修すること

- b. 上記(3)の2科目を履修すること
- c. 上記(1)～(4)まで合わせて14科目以上履修すること
- d. 上記(5)のレポートを期限までに提出すること

*毎学期、7科目以上履修しなければなりません。

8月の時点で以上4点が確認できないと、プログラム修了と認められません。

■ISEP プログラム概要

ISEP (International Student Education Program)では留学生向けに幅広いトピックの授業を英語で開講しています。また、教室で行われる通常の授業の他に、音楽、美術、運動のクラスや、フィールドスタディーのクラスもあります。ISEP生はその他に、ISEPセミナーに出席し、各自で決めた研究テーマの理解を深めるため、指導教員の指導のもと、調査を行いレポートにまとめます。

・授業

以下の6分野にわかれています。

1. ISEP 科目

授業は英語で行われます。全ての留学生が履修することができます。

2. Global Japan Studies

秋学期、春学期共に開講され、必修科目です。

3. 個人研究

ISEP生は全員、個人研究に取り組みます。秋学期の終わりに研究計画書、春学期の終わりには最終レポートを提出する必要があります(秋学期のみの参加者は秋学期の終わりまでに最終レポートを提出します)。レポート提出後は指導教員とISEP教員等の前で発表をします。

4. 日本語科目

ISEP生はそれぞれのレベルに合わせた日本語の授業を取ることができます。レベルは5(初級)から1(上級)まであり、プレースメントテストの結果によって履修するレベルが決まります。

5. 日本理解科目

日本語能力の高い留学生は、留学生向けに日本語で行われる「日本理解科目」を受講することもできます。また、留学生と日本語を母語とする学生が共に同じ教室で学ぶことのできる「多文化共修科目」を履修することもできます。

6. その他の授業

日本語能力の高いISEP生は東京学芸大学で開講されている一般学生向けの授業を履修することもできます。全ての講義は日本語で行われるため、留学生の語学力によって履修できるかどうかが決まります。

ISEP 生は 1 学期に 12 単位以上の授業を履修しなければなりません。そのうち 7 単位は ISEP 科目である必要があります。

- ISEP 科目 = 1 または 2 単位
- 個人研究 = 1 学期につき 1 単位
- 日本語科目 = 1 授業につき 1 単位
- 日本理解科目 = 2 単位
- 学部生向けのその他の授業 = 1 または 2 単位

■教員研修プログラム

1. プログラムの目的

教員研修留学生プログラムは、本国で教育ないし教育行政にたずさわる人が日本の大学の教員養成学部において 18 か月間の研修を行い、その成果を帰国後に本国で生かしてもらおうというものである。

研修留学生の専門の研究はそれぞれ所属の研究室にておこなうが、日本語の運用能力を身につけずに来日した場合は、初めの 1 学期間、留学生センターの日本語コースにて **1 週間 9 コマ × 15 週間** の集中コースを受講する。

2. 研修内容

2-1 専門教育

指導教員の指導のもとで、研修生の希望、個人研究のテーマ、日本語能力などを考慮して履修科目を決定する。

2-2 個人研究

本人の希望する研究テーマについて、指導教員の指導の下で研究し、研修終了時までその成果をレポートにまとめ、提出する。これは報告書として刊行される。

2-3 見学実習

附属学校・教育行政機関・施設などの参観、地域の文化活動への参加、日本人学生との交流、見学実習などを必要に応じて実施する。

2-4 日本理解科目

下記の 2 科目以上を履修しなければならない。

- ① 年度ごとに指定する科目の中から 1 科目以上。
- ② 「日本理解科目 A～H（春学期 ACEG、秋学期 BDFH）」、「多文化共修科目 A～D（春学期 AC、秋学期 BD）」、「留学生教育プログラム（ISEP）科目」のすべての科目の中から 1 科目以上を履修する。（①+②で 2 科目以上）

科目とその概要については各学期のはじめに案内する。日本理解科目の一覧表は留学生センターのホームページに掲載されている。

2-5 特別演習 Special Seminar

最初の秋学期のみ、毎週水曜日3限に特別演習が行われる。

2-6 日本語科目 Japanese-Language Courses

日本語科目はプログラムの必修科目ではないが、履修を希望する者は必ずプレースメントテストを受け、その結果にしたがって指示されるクラスで受講する。

2-7 修了証書 Certificate of Completion

所定の研修を終え、その成果を指導教員が認めた者については、本学学長の名において修了証書を授与する。

■シラパコーン大学7+1プログラム

1. プログラムの目的

本プログラムは、協定校であるタイ王国シラパコーン大学人文学部との特定協定に基づくプログラムである。シラパコーン大学人文学部アジア研究科では、学部4年間のうち、1学期間を外国に留学させ、海外での生活を体験させ、その国の言語や社会・文化を現地で学ばせる「7+1カリキュラム」を実施しており、本学留学生センターもその受け入れ先となっている。

2. プログラムの内容

2. 1 日本語科目

本プログラム生は日本語の授業を7科目以上履修しなければならない。レベルは5（初級）から1（上級）まであり、プレースメントテストの結果によって履修するレベルが決定される。

2. 2 特別演習

本プログラム生は特別演習を履修しなければならない。特別演習は、インタビューや発表、レポートなどを通じて、日本人と日本の社会や文化について考える科目である。

2. 3 文化交流行事

歌舞伎鑑賞教室、華道体験教室、防災館見学、ホームヴィジット等、各種の課外活動が行われる。

3. 修了証書と修了要件

1学期間のプログラムを終え、日本語と日本文化に関する8科目について所定の成績を納めたものについては、本学学長名において修了証書を授与する。